

岩手大学農学部地域環境科学科革新農業コース 教授 募集要項

本学科では、下記募集要項により教授1名を公募します。選考は本学の定める手続きにより行い、結果は応募者本人にお知らせいたします。

1. 職種・人員：教授・1名

2. 所属：

学 部：農学部 地域環境科学科 革新農業コース

大学院：大学院総合科学研究科（修士課程） 地域創生専攻 地域産業コース 高度農林業プログラム

3. 担当教育研究専門分野：土環境工学（地盤工学や応用力学の様なインフラに関連する分野を含む）

主な担当予定科目

学 部：土質力学，土質力学演習，構造力学，構造力学演習，革新農業実験Ⅰ（分担）など，革新農業コースの専門科目を担当します。そのほかに，教養教育科目（分担），学部専門基礎科目（分担）などを担当します。

大学院：総合科学研究科地域創生専攻地域産業コース高度農林業プログラムの専門科目を担当します。そのほかに総合科学科目，専攻共通科目，コース共通科目などを担当します。

その他：岩手大学大学院連合農学研究科の科目を担当します。

4. 応募資格

- （1）博士（またはPh.D.）の学位を有する者。
- （2）岩手大学上田キャンパスを拠点として，教育と研究に熱心に取り組める者。
- （3）担当専門分野に関して本学農学部教授にふさわしい研究業績を有する者。
- （4）学部および大学院において教育と研究指導ができる者。
- （5）研究成果の社会還元，地域貢献，自治体等の技術指導に積極的に取り組める者。
- （6）協調性を有し，本学教員として農学部ならびに大学院の運営に積極的に参画できる者。
- （7）上記の業務遂行のための語学力（日本語および英語）を有する者。

5. 任用予定日：令和7年10月1日（水曜日）以降のできるだけ早い時期

6. 提出書類

- （1）履歴書（写真貼付，様式は任意）
- （2）教育研究業績書（別紙作成要領を参照）
- （3）主要論文別刷（またはコピー）5編
- （4）これまでの研究概要および今後の抱負（A4版1ページ以内）
- （5）これまでの教育経験および今後の抱負（A4版1ページ以内）
- （6）科学研究費補助金や共同研究，受託研究など外部資金獲得状況の一覧

(7) 専門分野に関する技術指導や地域貢献活動等, その他, 審査に役立つと応募者が判断する事項 (A4版1ページ程度. 応募者の役割を明示すること.)

(8) 応募者について照会可能な方 (2名) の氏名と連絡先 (所属, 住所, 電話番号, E-mail)

※ 選考過程において必要と認めた場合, 後日, 追加資料の提出をお願いする場合があります.

7. 公募締切日: 令和7年3月31日 (月) (必着)

8. 応募書類提出先及び問い合わせ先

応募書類を, 次のアドレスへの電子メールの送信により受け付けます.

E-mail: iida@iwate-u.ac.jp

岩手大学農学部地域環境科学科革新農業コース 教授 (土環境工学分野) 選考委員会 委員長
飯田俊彰

- ・ 上記6. (1) ~ (8) の pdf 形式のファイルを, 電子メールの添付ファイルとして上記の応募書類提出先 (iida@iwate-u.ac.jp) へ送信して下さい.
- ・ 電子メールの件名 (Subject) を「地域環境科学科教授 (土環境工学分野) 応募書類 (応募者氏名)」として下さい.
- ・ 添付ファイルのサイズが20MBを超える場合には, 2通以上の電子メールに分割して送信して下さい.
- ・ 応募書類の受領後3日以内 (土日祝日などを除く) に受領通知を返信します. 受領通知が届かない場合には, 下記の問合せ先にお問い合わせ下さい.
- ・ 応募に関する個人情報, 選考以外の目的には一切使用しません.
- ・ 問合せ先
〒020-8550 岩手県盛岡市上田 3-18-8
岩手大学農学部食料生産環境学科 教授 飯田俊彰
Tel & FAX: 019-621-6191
E-mail: iida@iwate-u.ac.jp

9. 選考方法:

書類選考を通過した方には, 面接を実施します. このなかで英語による研究紹介 (20分間程度) と質疑応答 (20分間程度) をお願いします. 面接のための旅費等は応募者の負担となります. なお, 状況に応じて面接をWeb形式で行うこともあります.

10. その他

- (1) 地域環境科学科については, 大学ホームページ (<https://www.iwate-u.ac.jp/reorganization2025.html>) をご覧ください.
- (2) 岩手大学は男女共同参画を推進しています. 業績および資格等に関わる評価が同等と認められる場合には, 女性を優先的に採用します.
- (3) 産前産後休暇, 育児休業及び介護休業を取得していた場合には, 選考の過程で考慮します.
- (4) ワーク・ライフ・バランス支援, 女性研究者支援等の支援については岩手大学ダイバーシティ推進室のホームページ (<https://diversity.iwate-u.ac.jp/>) をご覧ください.

教 育 研 究 業 績 書				
年 月 日				
氏名 ○○ ○○				
研 究 分 野		研 究 内 容 の キ ー ワ ー ド		
○○、△△、□□		●●、▲▲、■ ■		
教 育 上 の 能 力 に 関 す る 事 項				
事 項		年 月 日	概 要	
1 教育方法の実践例				
1. ○○研究会		20○○年○月 ～現在	○○○○…	
2. △△による取り組み		20○○年○月 ～現在	△△△△…	
2 作成した教科書、教材				
1. ●●実験書作成		20○○年○月 ～現在	●●●●…	
2. ▲▲教材作製		20○○年○月	▲▲▲▲…	
3 教育上の能力に関する大学等の評価		20○○年度	総合評価*.* (○○学Ⅰ)	
1. 学生による授業評価 (○点満点)		20○○年度	総合評価*.* (○○学Ⅱ)	
4 実務の経験を有する者についての特記事項		20○○年○月 ～現在	○○株式会社において○○に従事し、○○について の研修指導を行った。(講演を行った。)	
1. ○○による研修指導等 (講演等)				
5 その他		20○○年○月 ～現在		
1. ○○における活動				
職 務 上 の 実 施 に 関 す る 事 項				
事 項		年 月 日	概 要	
1 資格、免許				
1. ○○		20○○年○月	○○	
2 特許等				
1. △△の製造方法		20○○年○月	特許第* *号 本人氏名、□□□□、△△△△	
3 実務の経験を有する者についての特記事項				
1. □□		20○○年○月	□□	
4 その他				
1. ●●		20○○年○月	●●	
研 究 業 績 等 に 関 す る 事 項				
著書、学術論文等の名称	単著・ 共著の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等又 は発表学会等の名称	概 要
(著書・訳書)				
1. ○○○○	単著	20○○年○月	○○出版	編者：△△△△
2. △△△△	共著	20○○年○月	△△出版	著者：△△△△、本人氏名、□□□□
(※発表順に記載)				担当部分：○章、○節、○○、PP40～70
(学位論文)				
1. ○○○○	単著	20○○年○月	○○大学大学院(修士(◇ ◇学))	
2. △△△△	単著	20○○年○月	△△大学大学院(博士(◇ ◇学))	
(学術論文)				
1. ○○○○ (査読付)	共著	20○○年○月	発表雑誌名等 巻 (号)：○○-○○	(※主要な学術論文 5 編については概要を 200 字程度で記入) 概要： ○○○○…
2. △△△△	単著	20○○年○月	発表雑誌名等 巻 (号)：○○-○○	著者：△△△△、本人氏名、□□□□
3. □□□□				担当部分：○章、○節、○○、PP120～140
(※発表順に記載)				
(その他)				
<総説・論説>				
1. ○○○○	単著	20○○年○月	発表雑誌名等	

2. △△△△	共著	20〇〇年〇月	巻（号）：〇〇-〇〇 発表雑誌名等 巻（号）：△△-△△	著者：△△△△、 <u>本人氏名</u> 、□□□□ 担当部分：○章、○節、〇〇、PP120～140
<紀要>				
1. 〇〇〇〇	単著	20〇〇年〇月	発表雑誌名等 巻（号）：〇〇-〇〇	
2. △△△△	共著	20〇〇年〇月	発表雑誌名等 巻（号）：△△-△△	著者：△△△△、 <u>本人氏名</u> 、□□□□ 担当部分：○章、○節、〇〇、PP120～140
<プロシーディングス>				
1. 〇〇〇〇	単著	20〇〇年〇月	発表雑誌名等 巻（号）：〇〇-〇〇	
2. △△△△	共著	20〇〇年〇月	発表雑誌名等 巻（号）：△△-△△	著者：△△△△、 <u>本人氏名</u> 、□□□□ 担当部分：○章、○節、〇〇、PP120～140
<商業雑誌、資料等>				
1. 〇〇〇〇	単著	20〇〇年〇月	発表雑誌名等 巻（号）：〇〇-〇〇	
2. △△△△	共著	20〇〇年〇月	発表雑誌名等 巻（号）：△△-△△	著者：△△△△、 <u>本人氏名</u> 、□□□□ 担当部分：○章、○節、〇〇、PP120～140
<報告書>				
1. 〇〇〇〇	単著	20〇〇年〇月	発表雑誌名等 巻（号）：〇〇-〇〇	
2. △△△△	共著	20〇〇年〇月	発表雑誌名等 巻（号）：△△-△△	著者：△△△△、 <u>本人氏名</u> 、□□□□ 担当部分：○章、○節、〇〇、PP120～140
<国際学会発表> ※最近 5 カ年を記載				
1. 〇〇〇〇	単	20〇〇年〇月	学会大会名 開催場所（国、地名）	発表者：△△△△、 <u>本人氏名</u> 、□□□□
2. △△△△	共	20〇〇年〇月	学会大会名 開催場所（国、地名）	
<国内学会発表> ※最近 5 カ年を記載 ※教授選考の場合、記載不要				
1. 〇〇〇〇	単	20〇〇年〇月	学会大会名 開催場所	発表者：△△△△、 <u>本人氏名</u> 、□□□□
2. △△△△	共	20〇〇年〇月	学会大会名 開催場所	
(※発表順に記載)				
(競争的研究資金等の獲得状況)		1 基盤（B） ●●と△△に関する比較研究（20〇〇年度 研究代表者 〇〇〇〇、単独） （20〇〇年 4 月～20〇〇年 3 月）		

(注)

1 「研究業績等に関する事項」には、書類の作成時において未発表のものを記入しないこと。

教育研究業績書の作成について

1. 「研究分野」及び「研究内容のキーワード」の欄について

- ① 大学「研究分野」の欄には、平成 29 年度まで使用されていた科学研究費補助金の「系・分野・分科・細目表」の分科レベルの名称又は「科学研究費助成事業 審査区分表（総表）」の中区分の名称（「およびその関連分野」は省略可）を用いて、研究分野の主なものを 3 つ以内で記入してください。「研究内容のキーワード」の欄には、「系・分野・分科・細目表」の細目又は「科学研究費助成事業 審査区分表（総表）」の小区分を参考に、研究内容を表すキーワードを 5 つ以内で記入してください。なお、各表に該当がない場合は、適宜記入してください。
- ② 専攻分野についての実務等の知識や経験を有する者（「大学設置基準」第 13 条第 3 号及び第 6 号、第 14 条第 5 号、第 15 条第 2 号並びに第 15 条の 2 第 3 号に該当する者）については、「研究分野」の欄に「〇〇に関する実務」と記入し、「研究内容のキーワード」の欄に職務内容を表すキーワードを 5 つ以内で記入してください。

2. 「教育上の能力に関する事項」及び「職務上の実績に関する事項」の欄について

- ① 「事項」の項には、各区分に該当する担当予定授業科目に関連する教育上の能力及び職務上の実績に関する事項を過去から現在まで簡潔に記入してください。
- ② 「年月日」の項には、当該事項に係る実施時期、発表時期、従事期間等を記入してください。
- ③ 「概要」の項には、当該事項に係る内容の概要のほか、当該活動における地位や役割、成果も記入してください。
- ④ 「教育上の能力に関する事項」の例
 - (ア) 「1 教育方法の実践例」について
 - 授業外における学習を促進する取組、授業内容のインターネット上での公開等
 - 司法研修所等の教育機関における教育経験
 - (イ) 「2 作成した教科書、教材」の例
 - 授業外における学習を促進する取組、授業内容のインターネット上での公開等
 - (ウ) 「3 教育上の能力に関する大学等の評価」
 - 各大学における自己点検・評価での評価結果
 - 学生による授業評価、教員による相互評価等の結果
 - (エ) 「4 実務の経験を有する者についての特記事項」
 - 大学から受け入れた実習生等に対する指導
 - 日本薬剤師センター等の職能団体の依頼による研修指導等
 - 訴訟・審判・監査・与信・企業提携・研究開発等の専門的な実務に関する教育・研修
 - 大学の公開講座や社会教育講座における講師、シンポジウムにおける講演等
 - (オ) 「5 その他」
 - 大学教育に関する団体等における活動、教育実績に対する表彰等
 - 国家試験問題の作成等
- ⑤ 「職務上の実績に関する事項」の例
 - (ア) 「1 資格、免許」
 - 医師、歯科医師、薬剤師、獣医師、看護師、教員等の資格で担当予定授業科目に関連するもの
 - 司法研修所等の教育機関における教育経験
 - (イ) 「2 特許等」
 - 特許、実用新案等で担当予定授業科目に関連するもの
 - (ウ) 「3 実務の経験を有する者についての特記事項」の例
 - 大学との共同研究

- 訴訟・審判・監査・与信・企業提携・研究開発等の担当実績
- 各種審議会・行政委員会、各種 ADR 等の委員
- 行政機関における調査官等の官職
- 調査研究、留学、海外事情調査等
- 上記を裏付ける報告書、手引書、マニュアル、雑誌等採用決定の際等における評価内容
- (エ)「4 その他」
 - 職能団体等からの実務家としての卓越性に関する評価・推薦等
 - ※こちらの項目を記載する場合は、推薦文書等根拠となる書類を添付してください。
 - 論文の引用実績等
- ⑥ 資格の証明書、雇用者や各種団体からの表彰・推薦文書等を必要に応じて添付してください。

3. 「研究業績等に関する事項」の欄について

- ① 「研究業績等に関する事項」には、書類の作成時において未発表のものは記入できません。
- ② 「著書、学術論文等の名称」の項について
 - (ア) 研究等に関連する業績を、「(著書)」、「(学位論文)」、「(学術論文)」、「(その他)」の項目に適切に区分し、各業績を発表順に通し番号を付して記入してください。
 - (イ) 著書については、書名を記入してください。
 - (ウ) 学術論文については、国際学術雑誌、学会機関誌、研究報告等に学術論文として発表したものの題名を記入してください。学位論文については、その旨を明記してください。
 - (エ) その他については、総説、学会抄録、依頼原稿等にあつては当該記事のタイトルを、報告発表、座談会、討論等にあつては当該テーマを記入してください。
 - (オ) 査読付きの論文については、題名の後に「(査読付)」と記載してください。
 - (カ) 当該著書、学術論文等が外国語の場合、著書等名（共著の場合は本人担当部分の章、節、題名も含む）はその外国語で記入してください。
- ③ 「単著・共著」の項には、当該著書等に記載された著作者が単独である場合には「単著」、著作者が複数いる場合には、監修、編集、編著、共著、部分執筆等の関わり方によらず「共著」と記入してください。
- ④ 「発行又は発表の年月」の項には、当該著書等の発行又は発表の年月を記入してください。
- ⑤ 「発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称」の項について
 - (ア) 著書については、発行所を記入してください。
 - (イ) 学術論文等については、発表雑誌等の名称、巻・号、掲載ページ等を明記してください。
 - (ウ) 報告発表等の場合には、学会大会名、開催場所等を明記してください。
- ⑥ 「概要」の項について
 - (ア) 主要な学術論文5編については概要を200字程度で記入してください。
 - (イ) 当該著書等が共著の場合には、以下の事項を記入してください。
 - 本人の担当部分の章、節、題名、掲載ページ（本人の担当部分を抽出できない場合は、これらの代わりに担当部分を抽出できない理由を記入すること）。
 - 本人の氏名（下線を付すこと。なお、①筆頭著者、②責任著者、③筆頭著者とイコールコントリビューションのいずれかの場合は、二重下線を付すこと）を含む著作者全員の氏名（多数にわたる場合は主要な共著者の氏名）（当該著書等に記載された順に記入すること）。
- ⑦ 「競争的研究資金等の獲得状況」の欄は、直近5年間の競争的研究資金（科研費等）または共同研究の獲得状況を記入してください。